

令和6年度 第1回山形市介護人材確保推進協議会

議事次第

日時：令和6年9月30日（月）

午後2時から午後4時30分

場所：山形市役所11階 大会議室

1. 開会

2. あいさつ

3. 報告

（1）「介護の職場」魅力・活力くるりんプロジェクト

資料1

4. 協議

（1）令和6年度の取組状況、及び、令和7年度の取組（案）

資料2，資料2－1，2－2，2－3，資料3

5. 各団体・機関からの情報提供

委員提出資料

6. その他

7. 閉会

<資料>

資料1	(P4)	「介護の職場」魅力・活力くるりんプロジェクト（令和5年度の取組結果）
資料2	(P6)	令和6年度の取組状況
資料2-1	(P12)	KAiGOのおしごとひろばニュースレター
資料2-2	(P14)	生産性向上セミナー&伴走支援説明会
資料2-3	(P15)	ハラスメント相談担当者スキルアップ研修
資料3	(P16)	介護現場の革新に向けた総合的な取組（令和3年度～令和7年度）
委員提出資料1	(P18)	山形公共職業安定所（ハローワーク山形）
委員提出資料2	(P20)	山形県 健康福祉部 高齢者支援課
委員提出資料3	(P36)	公益財団法人 介護労働安定センター山形支部
委員提出資料4	(P38)	社会福祉法人 山形県社会福祉協議会
当日委員提出資料		公益社団法人山形市シルバー人材センター
当日配布資料		山形市生産性向上コミュニティの登録資料
当日配布資料		山形市高齢者保健福祉計画（第9期介護保険事業計画）

令和6年度 第1回山形市介護人材確保推進協議会 名簿

No.	団体 (事業所)	団体役職 (役職)	氏 名
1	山形市内特別養護老人ホーム施設長連絡会	会長	柳 生 法 雄
2	山形県老人保健施設協会 (医療法人社団・社会福祉法人 悠愛会)	副会長 (理事長)	(欠席)大島扶美
3	社会福祉法人 山形市社会福祉協議会	事務局次長	漆 山 弘 幸
4	山形市介護保険事業所連絡会通所介護連絡協議会 (医療法人社団 楽聖会)	外部対応担当幹事 (介護事業統括兼事業推進担当理事)	志 田 信 也
5	山形県認知症高齢者グループホーム連絡協議会 (医療法人敬愛会 グループホーム馬見ヶ崎)	管理者	片 桐 菜 々 子
6	山形市特定施設連絡協議会 (介護付有料老人ホームフォーリーフ嶋ノオーリンク株式会社)	会長 (代表取締役社長)	(欠席)佐藤 一 (代理)米田 謙
7	公益社団法人 山形県看護協会 (訪問看護ステーションやまがた)	所長	山 川 一 枝
8	山形県地域包括支援センター等協議会	理事長	峯 田 幸 悦
9	一般社団法人 山形県介護福祉士会	事務局長	斎 藤 幸 子
10	一般社団法人 山形県介護支援専門員協会	副会長・山形地区支部長	(欠席)丹野克子
11	一般社団法人 山形県理学療法士会	顧問	高 橋 俊 章
12	一般社団法人 山形県作業療法士会	会長	松 木 信
13	一般社団法人 山形県言語聴覚士会	会長	荒 井 晋 一
14	株式会社ニチイ学館山形支店	課長	(欠席)吉田博人
15	学校法人富澤学園 東北文教大学短期大学部 現代福祉学科	助教	伊 藤 就 治
16	山形県立山辺高等学校	教諭	今 崎 絵 理
17	学校法人大原学園 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校山形校	副校長	酒 谷 伸 輔
18	山形労働局 職業安定部 職業安定課	雇用情報係	(欠席)美濃谷孝明
19	山形公共職業安定所(ハローワーク山形)	人材確保専門官	高 橋 裕 見 子
20	山形県 健康福祉部 高齢者支援課	課長	(欠席)板垣洋子 (代理)井上朋也
21	公益財団法人 介護労働安定センター山形支部	支部長	池 田 忠 義
22	社会福祉法人 山形県社会福祉協議会 (山形県福祉人材センター)	人材研修部副部長	鈴 木 利 宜
23	山形県教育局 高校教育課	課長	(欠席)伊藤久敏 (代理)鏈水智津子
24	山形市教育委員会 学校教育課	次長兼課長	(欠席)横山尚久
25	公益社団法人山形市シルバー人材センター	事務局長	石 川 一 幸
No.	事務局	役職	氏 名
1	山形市福祉推進部	部長	松 浦 雄 大
2	山形市福祉推進部長寿支援課	課長	阿 部 伸 也
3		課長補佐	佐 藤 恵 美 子
4		人材確保推進係長	山 口 貴 洋
5	山形市福祉推進部介護保険課	次長(兼)課長	森 俊
6	山形市福祉推進部指導監査課	課長	加 藤 明 彦

「介護の職場」魅力・活力くるりんプロジェクト(生産性向上モデル事業)について

1 目的

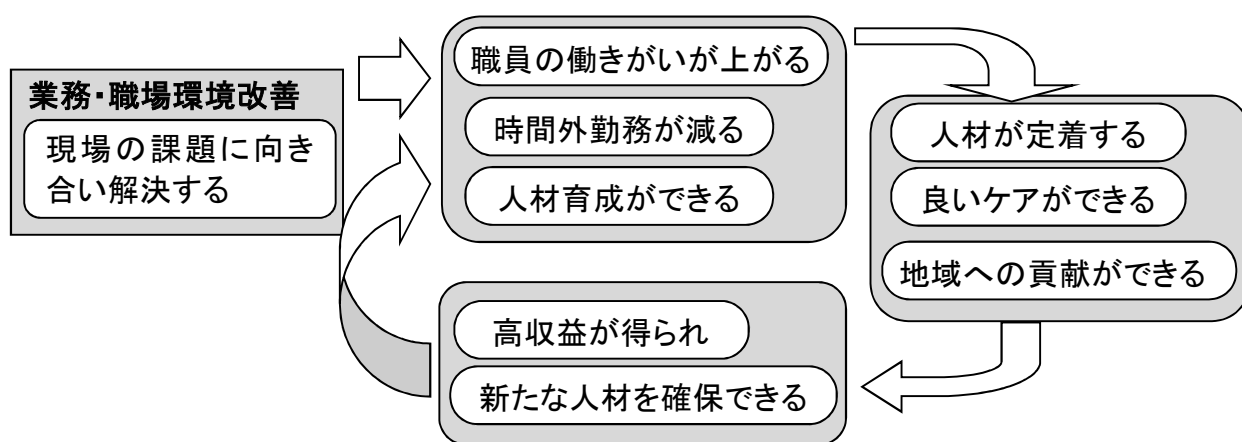
本事業は、内閣府から令和4年3月30日に地域再生計画（令和4年度～令和6年度）の認定を受けた、『介護発！魅力ある職場づくりによるYAMAGATA発展プロジェクト計画』の一環として、国のデジタル田園都市国家構想交付金（事業費の2分の1）を活用して事業を実施するものである。

介護業界が先頭に立って、現場の働き方や労働環境の改革、DXの推進などの生産性向上を行い、介護職員が山形市の介護現場で働きたいと思える環境づくりを推進する取組みである。

さらに、障がい、保育等の福祉分野や他の業界に横展開をすることで、「ひと」と「しごと」の好循環を生み出し、「まち」が活性化していく仕組みを創り出す、全国に先駆けた先進的な取組みである。

【参考】介護現場における生産性向上とは

『生産性向上＝テクノロジーの活用、業務を効率化』ではなく、
生産性向上の本質は『現場に向き合い、人を育てること』である。



2 内容

本事業は、専門のアドバイザーが業務改善や職場環境の改善の伴走支援を行うことにより、働きやすい職場環境を整備し、生産性、働きがい、業務の質の向上や、人材確保・定着を促進するものである。

3 令和5年度の実施結果

(1) 事業実施者 山形市

(2) 事業受託者（伴走支援者） 株式会社TRAPE（トラピ）※

※介護現場の生産性向上や働きがい向上、働き方改革、専門人材育成、well-being 教育などを通じて、介護業界をアップデートしている。山形市とは、令和4年3月30日に「地方創生の推進に係る包括連携に関する協定」を締結し、連携してサービスの質的向上などを図っている事業者である。

(3) 生産性向上モデル事業所

①社会福祉法人清桜会 小規模特別養護老人ホーム大曾根（令和4年度実施）

②株式会社coco1o 訪問介護こころ（令和5年度実施）

③社会福祉法人輝きの会 特別養護老人ホームいきいきの郷（令和5年度実施）

④株式会社タイヨウ 小規模多機能型居宅介護ソーレホーム西田（令和5年度実施）

※①はR4実施のモデル事業所で、R5は改善活動定着に向けたフォローアップを行った。

②～④はR5実施のモデル事業所で生産性向上の集団伴走支援を行った。

(4) 生産性向上に係る令和5年度伴走支援の取り組みの流れ ((3)の②～④事業所を対象)

ステップ1	改善活動の準備	9月
経営層から全スタッフに目的や意義を直接語り掛け、生産性と働きがいの向上についての共通理解を図る。プロジェクトチームを事業所内に立ち上げ、狙いや意味合いを深掘りする。		
ステップ2	現場課題の見える化	9月
複数のアンケートを全職員へ実施することで現場の課題を可視化し、可視化された課題をもとに取り組むべきテーマを全職員での対話により決定する。		
ステップ3	実行計画の作成	9月
絞り込んだ課題に対して、解決に向けた道筋を具体的に設計する。		
ステップ4	改善活動の実施	10月～1月
現場改善プランをもとに、日々小さな改善を繰り返す。自分たちで考え、小さな失敗や疑問も放置せず、諦めず修正してトライしていく習慣を身につける。		
ステップ5	改善活動を振り返る	2月
改善活動後の効果検証を行い、良かった点や今後改善する点の検討を行う振り返りミーティングを実施する。		
ステップ6	実行計画の練り直し	2月
残った課題の深掘りや、新たに取り組む課題等について対話を深め、改善活動の定着に向けて実行計画の見直しを行う。		

(5) 生産性向上に係る取り組み成果の一例

事業所	取り組みの成果	取り組み前	取り組み後
小規模特別養護老人ホーム大曽根	1週間の残業時間が85分減少した(令和4年度の成果)→令和5年度も残業時間の減少が継続している	1週間の残業時間:150分	1週間の残業時間:65分
訪問介護こころ	相談体制が明白になり職員の定着率が高くなった	月に1～2名が離職していた	離職率が0%となった。
特別養護老人ホームいきいきの郷	業務改善を行った結果、ナースコール対応で困ることがあると回答した職員の割合が22%減少した	ナースコール対応で困ることがある95%	ナースコール対応で困ることがある73%
小規模多機能型居宅介護ソーレホーム西田	経過記録や日報のルールを明確化し、必要な情報共有ができるようになったと回答した職員の割合が28%増加した	情報共有ができていると感じる43%	情報共有ができていると感じる71%

※事業所内職員向けのアンケート結果より

4 令和6年度の取り組み

- ・これまでのモデル事業所においては、フォローアップとして改善活動の定着、法人内横展開への支援、ICT導入等を活用した取り組みを検討する。
- ・介護事業所向けのセミナーを継続して開催し、生産性向上にまだ取り組んでいない他の介護事業所への普及・啓発を図る。
- ・生産性向上取組経験者(メンター)が中心となり、介護現場での課題や悩みを事業所間同士で共有、相談し合える場となる「山形市生産性向上コミュニティ」を運営し、介護事業所への横展開を図る。
- ・これまでのモデル事業所の業務改善成果や、生産性向上の取り組みを介護業界から他業界へ伝播するため、モデル事業所を選定し、生産性向上の取り組みを進めるほか、他業界向けセミナーを開催する。

令和6年度の取組報告

資料 2

介護人材の確保につながる場の創出

項目	内容等	取組状況	目標・実績
① 介護の職業体験イベント	中・高校生を中心に、介護に触れ合う機会を創出 【実施済】 介護サービス事業者団体、学校関係者等との連携 ■実施概要 ○目的 将来、介護職員としての雇用につなげることを目指し、中・高校生を主な対象として、介護の仕事の模擬体験やKAiGO PRiDEによる魅力発信を通して、介護の仕事を知ってもらう。 ○事業内容 ・介護の仕事体験 ・車椅子の移動介助、歩行介助体験など ・KAiGO PRiDE動画上映 ・介護職員ポートレート展示会 ・介護職養成校の紹介 ・就職相談	KAiGOのおしごとひろばの開催 ●開催日／会場 6月22日／霞城セントラルアトリウム ●参加者 304人(体験者31人) ●実施内容等 ・介護の仕事体験 ・車椅子移動 ・歩行介助の体験 ・介護職養成校の紹介 ・就業相談コーナーの設置 ・KAiGO PRiDE動画上映 ・介護職員ポートレート展示 ●課題等 ・学生の体験者数の増加 ・開催日程の検討	【目標】 参加者数 350人 【実績】 304人

「介護人材の確保・定着」の取組

項目	内容等	取組状況	目標・実績
① 介護の魅力発信	KAiGO PRiDEの実施 【取組中】 介護サービス事業者団体との連携 ■実施概要 ○目的 クリエイティブの力で介護をブランディングする「KAiGO PRiDE」の取組を通し、TVやSNS等のメディアを活用して、広く介護の魅力を発信する。 ○取組内容 ・山形市内の介護職員による動画の放映、YouTubeでの動画配信 ・介護職員ポートレート展示会	●実施内容等 ・KAiGO PRiDEアンバサダーの周知 ・イベント時の動画放映 ・動画のYouTube配信 ●参加者数 304人(KAiGOのおしごとひろば)	【目標】 参加者数 350人
中・高校生を中心に、介護に触れ合う機会を創出	介護サービス事業者団体、学校関係者等との連携(再掲) 【実施済】	●実施内容等 KAiGOのおしごとひろばの開催(再掲)	【実績】 304人 (KAiGOのおしごとひろば)
介護魅力発信事業費補助(Yamagata KAiGO-LiNK構築事業)	教育機関・学生等との連携 ■実施概要 ○目的 情報発信や介護業界に詳しいコーディネーターを中心に、福祉関係の学生有志が画像コンテンツ制作等を体験しながら、将来的に自らが介護の魅力発信等の分野で活躍できる人材になるような仕組みを構築し、介護職員の離職防止、介護人材の確保に繋げる。 ○取組内容 ・情報発信等を行うSNSアカウントの立ち上げ ・アカウント運営に係る知識や技術を学ぶ講習会等の開催 ・SNSアカウント運営の自走に向けた取組支援 【取組中】	●実施内容等 ・KAiGO PRiDEとの連携 ・教育機関・学生等との連携 8/27 キックオフ集会 東北文教大学、山辺高校の学生に対し、事業概要を説明。講習会の開催に向け、日程調整中。	

令和6年度の取組報告

資料 2

項目		内容等	取組状況	目標・実績
② 外国人材の受入環境整備	住宅セーフティネット制度の活用に向けた検討、居住支援協議会の運営補助 【取組中】	住宅政策課との連携 ■実施概要 ○目的 山形市住宅確保要配慮者居住支援協議会において外国人等の住宅確保要配慮者に居住支援を行うための課題の共有、協議を行うほか、住宅セーフティネット制度を活用しながら、介護現場への外国人材の確保を促進する。 ○取組内容 ・山形県居住支援協議会との役割分担に向けた協議 ・外国人材をはじめとする住宅確保要配慮者の住まい確保に向けた取組について課題の共有・協議	●実施内容等 ・関係団体との連携 山形市国際交流センター 山形県外国人介護人材支援センター 等 ・山形市住宅確保要配慮者居住支援協議会の開催 令和6年度の開催に向けて担当者協議中	【目標】 外国人受入事業所数 20事業所
	日本語教育支援、支援団体との連携 【取組中】	■実施概要 ○目的 外国人材の日本語教育や生活支援に係る介護サービス事業所の負担を軽減し、外国人材の資格取得に向けたサポートを行うことで、介護現場への外国人材の確保を促進する。 ○取組内容 ・日本語教室を実施する団体の紹介(山形市国際交流センター、山形市国際交流協会、実施団体等との連携) ・外国人を支援する団体等の情報提供(山形市国際交流センター、山形市国際交流協会、実施団体等との連携) ・山形県外国人介護人材支援センター事業の周知	●実施内容等 ・関係団体との連携 山形市国際交流センター 山形県外国人介護人材支援センター 等	
項目		内容等	取組状況	目標・実績
③ 高齢者の雇用促進	関係団体との連携 【取組中】	■実施概要 ○目的 就労意欲がある高齢者に対して、関係団体と連携し、介護現場への就労を促進する。 ○取組内容 ・介護労働安定センターとの連携 ・介護現場における高齢者の雇用促進のための情報発信	●実施内容等 関係団体実施事業の周知	【目標】 関係団体を通じた介護現場へ的高齢者の雇用者数 20人
	項目		内容等	
④ 若年者の雇用促進	学校との連携 【取組中】	■実施概要 ○目的 将来、介護職員としての雇用につなげることを目指し、学校において認知症サポーター養成講座を開催し、児童・生徒が、介護を知り、触れる機会を創出する。 ○取組内容 ・学校での認知症サポーター養成講座の開催	●実施内容等 ・学校での認知症サポーター養成講座の開催啓発	【目標】 学校における講座の受講者数 600人
	保護者や教職員の理解促進 【取組中】	■実施概要 ○目的 介護の職業体験や学校での認知症サポーター養成講座の開催を通して、保護者や教職員の理解促進を図る。 ○取組内容 ・学校での認知症サポーター養成講座の開催 ・介護の職業体験イベント(再掲)	●実施内容等 ・KaiGoのおしごとひろば開催 ・学校での認知症サポーター養成講座	

令和6年度の取組報告

資料 2

項目		内容等	取組状況	目標・実績
⑤ 潜在介護福祉士等の復職支援	山形県福祉人材センターとの連携 【取組中】	■実施概要 ○目的 介護の有資格者届出制度を周知する。また、登録者に対して、介護に関する情報発信を行い、復職を促進する。 ○取組内容 ・介護の有資格者届出制度の周知(山形市→事業所) ※市窓口やイベント等 ・KAiGO PRiDEの取組の情報提供(山形県福祉人材センター→登録者) ・山形市が進める介護現場革新事業の情報提供(山形県福祉人材センター→登録者) ・介護の職業体験イベント等での連携	●実施内容 ・KAiGOのおしごとひろばでの情報発信 ・就業相談コーナーの設置 ・市窓口やイベント等での周知	【目標】 介護職の届出制度登録者数 90人／年
	復職支援に向けた技術研修の実施 【取組中】	山形県福祉人材センター及び介護サービス事業者団体との連携 ■実施概要 ○目的 復職希望がある登録者等の介護の仕事への不安を解消し、復職を促進するため、県社会福祉協議会や介護サービス事業者団体と連携し、復職希望のある有資格者に対しセミナーや研修等を開催する。 ○取組内容 ・介護の仕事の基本等に関するセミナーや研修等の開催	●実施内容 ・県社会福祉協議会や介護サービス事業者団体と連携し、必要に応じて対応する	
項目		内容等	取組状況	目標・実績
⑥ ハラスメント対策	ハラスメント対策研修の実施 【取組中】	山形県社会福祉協議会及び介護サービス事業者団体との連携 ■実施概要 ○目的 介護現場で働く職員の安全を確保し、安心して働き続けられる労働環境を築くことで、介護職員の確保・定着を促進する。 ○取組内容 ・ハラスメント対策講座の開催(山形県社会福祉協議会) ➡ 8/19開催 ・ハラスメント対策の実践型研修(山形市) ※山形市内の事業所の取組状況を踏まえ、スキルアップしながら対策の向上が図れるよう、多機関で連携し独自の研修プログラムを実施 ・マニュアル作成を通じたハラスメント対策の周知	●実施内容 ・ハラスメント対応マニュアル 聖隷クリストファー大学 篠崎良勝先生に監修を依頼し、作成中 ・ハラスメントセミナーの実施 日程調整中	【目標】 受講事業所数 30事業所
	ハラスメント相談担当者スキルアップ研修の実施 【取組中】	■実施概要 ○目的 ハラスメント対策と合わせて、ハラスメント相談担当者がハラスメントを受けた職員のケアのスキルを上げていくための研修を実施し、介護職員が安心して働ける環境づくりを行い、職員の定着を図る。 ○取組内容 ハラスメント相談担当者を対象に、スキルアップ研修を開催する。	●実施内容 ・ハラスメント相談担当者スキルアップ研修(10/18 開催予定)	

令和6年度の取組報告

資料 2

「生産性の向上」の取組			
項目	内容等	取組状況	目標・実績
① 業務改善、ロボット・ICTの活用	生産性向上改善活動定着支援・普及啓発及び生産性向上コミュニティを活用した横展開 【取組中】	令和4、5年度に実施した生産性向上モデル事業において選定されたモデル事業所との連携 ■実施概要 ○目的 生産性向上モデル事業や、フォローアップ研修で培ったノウハウを活かし、山形市内の介護サービス事業者等に対する研修の実施や相談・フォローアップ等を行う。令和4、5年度のモデル事業所とは引き続き連携し、改善活動の定着支援を行う。 ○取組内容 - モデル事業所の取組プロセスや成果事例の普及啓発 - 令和5年度に構築した生産性向上コミュニティの活用による横展開 - 新たに生産性向上改善活動に取り組む事業所への支援	●実施内容等 - 生産性向上モデル事業づくり - 令和5年度までのモデル事業所への改善活動の定着支援を実施中 - フォローアップ研修の開催日程調整中 【目標】 研修参加者数 50人
	生産性向上モデル事業の他業界への横展開 【取組中】	●実施内容等 他業界向け生産性向上推進セミナー開催 ●開催日／会場 8/30／山形商工会議所 ●参加者 15事業所17名	【目標】 モデル事業所 1事業所
	介護ロボット・ICT導入支援 【取組中】	●実施内容等 - 情報提供 - 山形県介護テクノロジー定着支援事業費補助金	【目標】 介護ロボット・ICT導入法人の割合 50%
項目	内容等	取組状況	目標・実績
② 文書量削減	申請に係る様式の見直し等による書類の簡素化・標準化 【実施済】	●実施内容等 電子申請届出システムを利用した電子申請の受付	【目標】 電子申請受付種類の拡充 50%
	簡素化・標準化の取組を踏まえたICT等の活用 【取組中】	●実施内容等 山形県介護テクノロジー定着支援事業費補助金の周知	

項目		内容等	取組状況	目標・実績
③ 事業所間の連携推進	小規模法人のネットワーク化による協働推進事業の実施 【協議中】	介護サービス事業者団体との連携 ■実施概要 ○目的 国の小規模法人のネットワーク化による協働推進事業を活用し、経営基盤が脆弱な小規模法人を含めた地域の介護サービス事業所団体が連携し、地域貢献や福祉人材の確保等のための取組が促進されるよう、その環境整備を図る。 ○事業実施団体の取組内容 ・地域課題を討議するプラットフォーム会議の開催 ・人材確保の取組(介護の魅力発信や潜在介護福祉士等の復職支援等) ・災害時の連携強化のための取組 ・生産性向上に関する取組 ・地域貢献に向けた、先進的な福祉活動に関する研修会の実施 ・有償ボランティアのマッチングシステムを活用した取組	●実施内容等 ・事業実施に向け準備中	【目標】 事業実施団体数 2団体

介護人材の確保に関する協議

項目		内容等	取組状況	目標・実績
① 介護人材確保推進協議会の開催	介護の人材確保に関する団体・機関等による協議 【取組中】	介護サービス事業者団体、学校関係者等との連携 ■実施概要 ○目的 介護事業者・介護関係団体、教育機関等が一体となって、高齢者の生活を支える介護人材の確保・定着及び介護現場の生産性の向上を推進する。 ○取組内容 人材確保は介護業界だけではなく、福祉業界全体の課題である。また本年度は、これまで介護分野で行ってきた生産性向上の取組みを障がい・保育等の他業界へ広める横展開に取り組んでいる。 以上のことから、令和7年に予定している第2回山形市介護人材確保推進協議会では、障がい分野からオブザーバーを招聘を予定している。	山形市介護人材確保推進協議会の開催 ●開催日／会場 第1回:令和6年9月30日 大会議室 第2回:令和7年(予定)	【実績】 第1回開催 (9月30日)

KAiGOの おしごとひろば

Saturday,
June 22,
2024



主催：山形市長寿支援課、山形市特定施設連絡協議会、山形市内介護・福祉事業所等連絡会、一般社団法人 KAiGO PRIDE、山形県社会福祉協議会山形県福祉人材センター

TOPIC01

中高生を対象とした介護体験会

KAiGO（介護）の仕事に興味を持つ中高生、将来の進路に介護職を検討している若年層をターゲットに、介護への理解を深める機会を提供するイベント「KAiGOのおしごとひろば」が、今年で3回目を迎えて開催されました。

進学・就職に関する相談ブースのほか、介護する側とされる側の両方を体験できるコーナーが設けられています。

山形市のお宝広報大使「はながたベニちゃん」も応援参加！

体験者を勧誘したり、段差のあるコースで車いすを押す体験に参加したり、イベントを盛り上げてくれました。

来場者は300人超え、介護体験に参加された一般の方も31人と昨年を上回る人数をカウントしました。





学生・教員による介護職養成学校紹介ブース：東北文教大学短期大学部、大原学園山形校、山辺高校／職業相談ブース：山形県福祉人材センター

TOPIC02 高齢期疑似体験システム

高齢期疑似体験システムは、体に装着することで、高齢者の身体や感覚の変化（低下）を疑似的に体験できるもの。

歩行助動コーナーでは、ゆっくりと一歩ずつ歩を進める、疑似体験キットを身に着けた参加者と助動スタッフの姿を目にしました。

中高生の皆さんには、将来の仕事として「介護」に触れるきっかけになってほしいのはもちろんですが、「介護を必要とする側の気持ちも体験・体感できる」貴重な学びの場になったのではないのでしょうか。



生産性向上・業務改善の専門家が半年間伴走し
あなたの職場の業務改善を支援！

「人手不足を解消」するための 生産性向上セミナー＆ 伴走支援説明会

本セミナーは、山形市の「介護の職場」魅力・活力くるりんプロジェクトの一環として開催されるものです。
このプロジェクトは、介護現場において、生産性向上の取組を行うことで業界を活性化させつつ、そこで得た
成功事例やノウハウを他の業界に横展開することで「ひと」と「しごと」の好循環を生み出し「まち」が活性化
していく仕組みを作り出す地方創生の取組の一環です。
本セミナーでは、どの業界でも共通課題である「人手不足」や「労働環境」の悩みを解決するノウハウをお伝え
しつつ、法人・企業に対して、専門家が半年間伴走支援する事業の中身についての説明会も同時に行います。

日時

2024年 **8月30日** (金)
13:00 ~ 15:00 (入場 12:30 ~)

開催場所

山形商工会議所会館5階 大ホール
※お車でのご来場の際は、山形市中央駐車場をご利用ください

対象

法人・企業の経営者・経営層・管理職 (山形市内限定)



株式会社TRAPE 代表取締役

鎌田 大哲 (かまた ともひろ)

- ・大阪大学 医学部保健学科医学系研究科 招聘教員
- ・厚労省「介護事業所におけるデータ連携による生産性向上に関する調査研究」委員会 委員
- など他多数

このような方はぜひご参加ください！

- ・ 人手不足を感じている
- ・ 採用の難しさ、離職の多さを感じている
- ・ 労働環境を改善したいと思っている
- ・ ICTやテクノロジーを有効活用できていない
- ・ 業務効率が悪いなど感じる時がある

お申し込み方法

以下のフォームからアクセスするか、
QRコードを読みとってお申し込みください

<https://forms.gle/2NEhMnpcNTsT74HVA>

申込期限
2024年 **8月28日** (水)



主催

山形市 福祉推進部 長寿支援課
TEL 023-641-1212 (内線930)
E-mail choju@city.yamagata-yamagata.lg.jp

運営・事務局

株式会社TRAPE 山形市事業 事務局
TEL 06-6379-3580
E-mail yamagata@trape.jp

施設長・管理者向け

『ハラスメント相談担当者 スキルアップ研修』

日 時

令和 6 年 1 0 月 1 8 日 (金)
9 : 3 0 ~ 1 2 : 0 0 (入室 9 : 1 5 ~)

開催方法

オンライン形式 (Zoom研修)

参加費無料

対 象

山形市内の介護事業所等の施設長・管理者

内 容

1. カスタマーハラスメントとは
2. カスハラを見極める
3. カスハラは組織で防衛する
4. 法律を味方につける
5. ケーススタディ

～職員がカスタマーハラスメントにあったケースを考える～



講 師

にしな えつこ
仁科 悦子 氏 (株式会社 insource)

申込方法

以下のURL、またはQRコードからお申込みください
<https://forms.gle/Edx678KEQiYCoJ6CA>

申込締切

令和 6 年 1 0 月 9 日 (水) 1 7 : 0 0 まで



問合せ先

山形市長寿支援課 人材確保推進係
TEL : 0 2 3 - 6 4 1 - 1 2 1 2 (内線 9 3 0)

介護現場の革新に向けた総合的な取組（令和3年度～令和7年度）

資料3

ビジョン（大目標、中目標）

大目標：介護職に魅力が感じられ、職員が誇りを持って仕事ができる環境をつくる

中目標：1. 介護人材一人一人が、誇りを持てるクリエイティブな仕事だと思えている

2. 働きやすい環境で、多様な介護人材がそれぞれの立場・役割を持ち「チームケア」が実践されている

指標

山形市内の介護サービス事業所・施設職員の離職率

ビジョン達成のための具体的な取組（小目標）

※ 国の制度見直しや山形市の取組状況等を踏まえて適宜見直しを行う。

介護現場革新事業で実施する項目

「介護人材の確保・定着」の取組		事業スケジュール	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和6年度の目標	関連する制度等
介護の魅力発信	「Kaigo PRiDE」の実施（動画による啓発、ポトレイト展示等）							参加者数：350人	○小規模法人のネットワーク化による協働推進事業(国社会・援護局)
	「Kaigoのおしごとひろば」の開催								
	Yamagata Kaigo LiNK事業構築・支援								
外国人材の受入環境整備	日本語教育支援（日本語教室の案内）							外国人受入数：20事業所	○外国人介護職受入施設等支援事業(県地域医療介護総合確保基金) ○外国人介護人材支援センター事業(県地域医療介護総合確保基金) ○住宅セーフティネット制度(国交省) ○外国人介護職員の雇用に関する介護事業者向けガイドブック 等
	外国人支援団体等との連携								
	住宅確保要配慮者居住支援協議会の運営・連携支援 住宅セーフティネット制度の活用に向けた検討		設立						
高齢者の雇用促進	シルバー人材センターや介護労働安定センター等、関連団体との連携							関係団体を通じた高齢者の雇用者数：20人	○介護人材のすそ野拡大事業(県地域医療介護総合確保基金) 等
若年者の雇用促進	学校との連携 (認知症サポーター養成講座等による周知啓発)							学校における講座の受講者数：600人	○介護分野における戦略的広報推進事業(県地域医療介護総合確保基金) ○介護職参入促進事業(県地域医療介護総合確保基金) ○小規模法人のネットワーク化による協働推進事業(国社会・援護局) 等
	保護者や教職員の理解促進（体験イベントを通じた理解促進）								
潜在介護福祉士等の復職支援	山形県福祉人材センターとの連携（復職支援に向けた情報提供）							届出制度登録者数：90人	○離職介護人材の再就業促進事業(県地域医療介護総合確保基金) ○小規模法人のネットワーク化による協働推進事業(国社会・援護局) 等
	復職支援に向けた研修の開催								
ハラスメント対策	ハラスメント研修の実施							ハラスメント対策研修 受講事業所数：30事業所	○介護職員の離職防止のための相談窓口の設置(県地域医療介護総合確保基金) ○小規模法人のネットワーク化による協働推進事業(国社会・援護局) ○介護現場におけるハラスメント対策マニュアル、研修の手引き(国老健局) 等
	ハラスメント相談担当者スキルアップ研修の実施								
「生産性の向上による業務の効率化・質の向上」の取組		事業スケジュール	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和6年度の目標	関連する制度等
業務改善、 ロボット・ICTの活用	生産性向上改善活動定着支援・普及啓発							介護ロボット・ICT導入 法人の割合：50.0%	○小規模法人のネットワーク化による協働推進事業(国社会・援護局) ○生産性向上ガイドライン(国老健局) ○山形県介護テクノロジー定着支援事業費補助金
	生産性向上コミュニティによる山形市生産性向上モデル事業取組成果の横展開								
	山形市生産性向上モデル事業取組成果の他業界への横展開								
	山形県介護生産性向上総合支援センターとの連携による介護現場生産性向上等の支援・施策の周知								
	介護ロボット・ICT導入支援の周知								
文書量削減	各種申請・届出等のデジタル化による事務負担の軽減による介護サービスの質の確保							電子申請受付種類の拡充	○国が示す様式例(国老健局)
	簡素化・標準化の取組を踏まえたICT等の活用								
事業所間の連携推進	小規模法人のネットワーク化による協働推進事業の実施 (地域貢献事業、介護人材確保、防災等)							事業実施団体：2団体	○小規模法人のネットワーク化による協働推進事業(国社会・援護局)

資料3

山形市生産性向上コミュニティへのご登録

こちらのLINEオープンチャットにご登録ください！

登録すると…

1. 今日のセミナー内容や生産性向上の取組について
TRAPEや生産性向上の取組をすでに進めている
介護事業所（山形市内）に**質問することができます！**
2. 今回の参加事業所同士で継続したつながりを作り
相談や交流をしていくことができます！

登録はコチラから→



【ご登録いただく際の注意点】

- LINEの機能の一環ではありますが、**個人のLINEアカウントとは別になります**ので、その点をご安心ください
- 登録する際は、アカウント名を「**事業所名_お名前**」でご登録下さい